

# 報 會 婦 人 大 學

**協会規約(總會)**  
 總會は毎年四月開會する。総  
 以上の出席者もつて成立する  
 總會に出席する者は、左の事項  
 一、年次報告  
 二、予算決  
 三、決算  
 四、役員選挙  
 五、その他必要事項  
 一、役員選挙  
 二、役員選挙  
 三、役員選挙  
 四、役員選挙  
 五、役員選挙

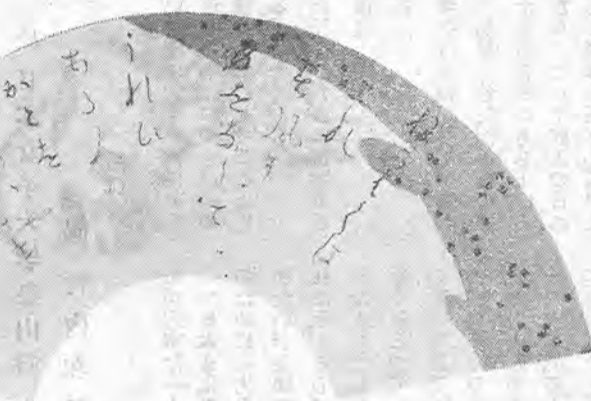
東京都渋谷区千駄ヶ谷  
 津田英語会 構内  
 大学婦人協会  
 編輯 鈴木 布 美  
 発行人 鈴木 布 美  
 発行日 昭和29年3月25日  
 (第十四号)

## JAUW活動の幅と深さについて

——一九五四年の總會を迎えるに當り——

一年の月日は、早くながれそ  
 だ。しかしその間世界がたどつて  
 いる道、従つて日本がたどつてい  
 る道が、日毎に逆流的であること  
 をひしひしと感じなければならな  
 かつたことは、私共の大きい悲  
 劇であつた。そしてその悲劇は更  
 に進行しつつある。世界は平和を  
 のぞみつつ、平和からはますます  
 遠ざかり、日本は文化國家、平和  
 國家をさげびつつ、文化の基盤で  
 ある言論の自由は破防法によつて  
 重圧をうけ、いまた教育二法案  
 の提出によつて、いよいよ強み  
 えざる暴力を感じなければならぬ  
 状態におしやられ様としている。  
 平和憲法も実質的にはふみにじら  
 れてゆく感が強い。

各大学の本会加盟についての基  
 準決定の問題、之によつて女子高  
 等教育の充実とその程度の引上げ  
 に間接的な貢献をしようとする努  
 りに働いてきた。



元會長 山崎光子氏筆

力をかさねてきた。JAUWの世  
 界連盟えのお仲間入りの問題や、  
 中央教育審議会へ婦人委員推薦の  
 問題、特に奨学金を集めるという  
 非常に骨の折れる地味な仕事に  
 身をこめて努力してこられた。今  
 度は、JAUWが現在のなす  
 べき責任は、はたしてこの程度に  
 限定されてよいのか、これこそ  
 一九五四年の年次總會が眞剣な問  
 題としてとりあげなければならぬ  
 ことである。

## 役員會議事録から

書記

山下タミ  
竹内和子

一九五三年四月——一九五四年二月

- 五月九日午後五時五十分、本会主催の「五月九日午後五時五十分」に於て行われた。
- 五月三十日午前九時、ト夫人との懇談会に出席。
- 五団体連絡委員会へ代表三名を野見山会長、氏家婦人地位向上委員長、田中東京支部長と決定。
- 六月十六日及び十八日夜、日本知的交流委員会主催の「ベルト夫人講演会」がYWCAに於て行われた。会員五十名出席。
- ホームズ奨学金については奨学金委員会に一任することに決定。
- 藤写版を購入した。
- 本部経費及奨学金を補うためライオンはみぎき、石けん、封筒、便箋を売る。
- 七月国外奨学生松本武子氏、高野フミ氏、向山泰子氏、アメリカへ向け出発。
- 五団体連合会より買春禁止法について引きつづき協力を求められたので、党派的政治問題として取扱われぬ限り協力することに決定。
- 国際加入問題についてはロン

今年が冒によし奈良で總會が開催されることになりましたので、奈良支部では京都、大阪、神戸の各支部と御協力下さいまして左のように、大変興味あるプログラムをつくつて下さいました。今から楽しみにいたしてお待ち下さい。

もう既に十数ヶ所から申込みが参つておりますが未だ御申込みない方も多数御出席下さいますようお願いいたします。

## 總會御知らせ

時 日 四月四日(第一日曜日) 自午前九時 至午後五時半  
 会 場 奈良女子大学  
 会 費 百五十円  
 見 学 第一班 市内  
 第二班 法隆寺班

## 第八回總會プログラム

- 4月3日 支部長招待会 於 奈良女子大学 佐保会館 5時より 9時より  
 4月4日 總會議事 於 奈良女子大学 講堂 9時より
- 開 会 ..... 9 時
  - 会長挨拶 ..... 9 時 10 分
  - 報 告 ..... 9 時 30 分
  - 議 事  
 (イ) 年度計画  
 a. 会員増加の件 ..... 10 時 30 分  
 b. 本部名簿整理について  
 c. 会費納入法について  
 d. 財政拡充について  
 e. 国際大学婦人連盟会費払込について  
 f. 会員調査の継続について  
 (ロ) ホルムス育英奨学金授与の方法について  
 (ハ) 新加盟校承認の件  
 (ニ) 婦人文化賞設定の件  
 (ホ) 教育二法案と平和憲法擁護についての提案  
 (ヘ) 汎太平洋婦人会え出席者推せん  
 (ト) 予 算  
 (チ) 次回總會開催について
  - 役員選挙 ..... 12 時
  - 写 真 ..... 12 時 30 分
- 昼 食 ——  
 1 時
- 講 演「婦人と星」メイケンソン夫人 (天文学博士) 2 時より
  - 懇 親 会 ..... 3 時より  
 講演「大和の古美術に就て」松本権重氏(美術評論家)  
 お茶と懇談 ..... 4 時
  - 閉 会 ..... 5 時 30 分
- 4月5日 見 学

## 委員會報告

### 学校教育委員會

委員長 藤川富士子  
 委員 馬越 憲子  
 高橋 憲子  
 坂 宏子  
 真柄 婦美子  
 松村 緑

とを議決した  
 新卒業生並に新入会員を勧誘  
 するためのリーフレットを作り  
 裏をカードにして書込み保存出  
 来るようにする事を計画した

委員(出席者) 馬越、高橋、坂、藤川、真柄)を開催、五時散會し  
 ました。  
 會議の内容及びその後の経過は  
 左の通りです。  
 一、中央教育審議会に関する聲明  
 書について  
 昨年九月十七日附で山本杉氏が  
 委員に加へられたが、尙数名の  
 婦人委員を、特に学校教育経験  
 者の中から選んで加へる様今一度  
 聲明書作成の上、文部大臣に提  
 出する。  
 尙婦人委員選挙に當つては本會  
 の様な団体に諮問する様申し入  
 れる。  
 二、婦人教員の問題  
 昨今所謂逆コースの風潮から、  
 婦人教員の受ける圧迫は増大し  
 目に余る例さへ見受けられる。

これに対し本會も何等かの措置  
 を講ずべきである。具体的な活  
 動は來年度の課題となるが、會  
 員諸姉の御協力を切望する。  
 三、教育二法案について  
 (これには會議時間の大半をか  
 けて十分論議しました)  
 この法案は、特殊の者を抑へる  
 爲に立てられたものではあるが  
 一般の者を萎縮させる結果にな  
 りはしないか。この様な重大な  
 結果の予想される法案に対して  
 は、本會もその態度を決定すべ  
 きである。この爲臨時總會の開  
 催を本部役員會に諮る。  
 三については本部役員會に諮つ  
 た結果四月始めの定期總會まで  
 待つことになりました。

(三月十日記)

### 第六回国内奨学金授賞式

昭和二十九年一月十五日(成人の日)

午後二時—四時

於日本女子大学泉山館

書記 竹内和子記

#### 1 北村奨学金委員長挨拶

今日受賞のため、お集りの方は多くはアンダグラジュエイトの学生なので本協会のことを御存じないと思うが、本協会は婦人の教養をたかめ、婦人の地位をたかめるために勉学を奨励し、研究を援助する。

その資金は全国の会員が努力して集めたものである。

本年度受賞者は学生及研究生四十二名である。差上る金額は僅かでも、皆さんの将来に対する期待をこめたものである。皆さん

が近い将来に大きい責任をもつて指導する地位につき社会のために盡くして下さることを期待する。

#### 2 野見山会長より各自に賞状及び奨学金贈呈

この奨学金は役員が多忙中熱心に協議の結果、各支部からの推薦者の中から皆様にさし上げることにになり、これを成人の日に上げられる事は会長として、又役員として大変喜ばしい。皆さん

が大事な一人一人として各分野で日本文化のためにも、世界のためにも力をつくしていただきたい。金額は少いけれどもそれにそえる心、希望、期待は大きなものであるから、その気持ちをくみとつてもらいたい。先日の新聞で見ると、馬は五千萬年かかつて今の姿になつたそうである。人間の姿を考えると地球上二十億の人間が馬ほどもすつきりしない部分もあるのではないか。これからさき人類は、

馬のように五千萬年もかかなくても、もつと早く発達して、今日はその原子力を使つて、人間がすつきりなるように努力したい。世界中のあらゆる人種が知能、心持において人間らしいすつきりした姿になるその過程に今はあるのだと思つて、そういう願をこめて行きたい。そのためにも皆で協力して行きたい。大きな目的のために皆が力をあわせたい。皆様に御祝とともに御協力をお願いしたい。

なお賞状は山崎光子氏の書かれたものである。

4 東京大学厚生部長波瀾氏挨拶  
今まで東京大学は男子の大学なので、女子については関心がなかつたが、このごろ優秀な女子学生が入つて来たので、女子の諸君にもよくお世話をして、大学教育を完了しなければならぬと思つた。今日の社会は一般

に女子に対して理解がなく、東京大学における奨学金、ことに育英会以外のものは殆んど女子には出ない。そのとき貴協会の女子学生のために御考慮になることは有りがたい。少額であつても刺戟になつて一般社会が注目すれば大いに効果があると思ふ。大學生協会のこの事業を慶びを申上げる。おめでとう。すすめられてますます援助の道をすすめていただきたい。又受賞者方は御厚意にむくいる御努力をお願いしたい。

5 日本女子大学大橋学長挨拶  
まず大學生協会におおびをしたいと思います。他の会とかあつて心にかかりながら会員として十分な義務をつくしていない。今なるべく外をかけたまわらずにすむ様にちぢめて行つて居るから、その内本会のためにも努力して、さして皆様に今日賞をさし上げることが出来て大変うれし。お

一年の間の先輩の方々の努力、ひいては外国との協力にもなるその努力国外奨学生への努力とあわせての努力の一切である。各大学で力もち人格をもつた方々が今日まで、学校のため御自分のため勉強された御よろこびを申上げる。

卒業後に研習していただける方々本当に個性をのびし研究して居る方々に御よろこびを申上げる。お金の方からいうと大した事ではないが、この機会を得られたことは大きな問題を将来にもつて居る。

日本人は文字に力を使ひすぎるし、假名との関連を研究し、習うにしても一生ちゃんと言前もかけない。此頃はペンでも余り失礼ではなくなつたが、それでもやはり形がむづかしい。そこでなるべく骨字を書くことである。それには一字一字を離すこと、縦横のあき方が字を美しく見せること、紙の縁に従つて横の線を水平線の線を垂直に、そういう考えの下に組立てられた文字である。

山崎光子氏談  
日本のため、世界のため、願ひする。

6 受賞者代表今井百里江子氏挨拶  
(奨学金への御礼と祝辞への御礼)

私の字について

熊本支部便り

### AAUW国際奨学生決定

AAUW国際奨学金は左の三人に授與する旨の通知が二月八日附全月十四日に會長の許にとどきました。

二十一年から百十五人の候補者が推薦され、うち五十人が奨学金を授与された。一人も授与をうけなかつた国があつたにもかかわらず、本年わがAAUWから三人の方々がこの榮譽をいたされた。

はじめは米赤十字、その後は漢洲戦犯第二分隊に働かれました。昭和二十五年より二十七年迄は、文部省とGHQの教育部に關係され、JFEI(教育指導者講習會)の米人講師の通譯兼秘書として働かれました。其後は日本の商業教育に興味を持たれ、機を見て、渡米、彼地でその方面では最も進歩していると云われている商業並びに職業教育を学びたく思つてい



田英学 英学で学ばれ、同窓を昭和八年に卒業されました。終戦後はお子さんも大きいので職業に就かれました。

イブライター等を選び、又日本の商業職業教育の実状研究にも力をそいで居られます。

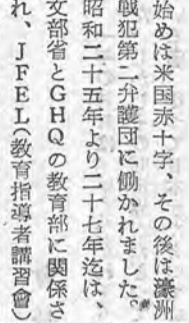
高橋憲子氏は、日本女子大学卒業後、同校の生理学教室助手として勤務され、現在助教として生理学を担当して居られます。長年同校に於て研究の傍ら、熱心に学生指導の任に当り、明朗な、親切な指導者として(現在一年のディーン)活躍して居られます。

研究上には彼女は生物科学に対する深い興味と広い知識を持たれ、有機体の生理現象を熱心に追究し、既に論文の一部を学界に発表されました。

四倉早葉子氏は、東京女子大学卒業後、東大英文科に学ばれ現在東大大学院生としてブラウニング夫妻の研究を卒業論文からひきつづいてやつて居られます。かたわらルーテル日本語学校で日本語教師として在日外国語教師に日本語を教えて居られます。元來語学に深く興味を持たれ、東大生時代も、国語、英語関係の講義に主に出席された由で、英語の知識を持

熊本の神話の内のノアの洪水を思わせた、当地昨年六、二六の未曾有の大洪水も、全半歳を離れた年末には、その七、八割の復興に漕ぎつきました。とは云え排土のトラックは未だに後を絶たず、今日も收容所生活に不自由な朝夕を迎えている處も、少くない有様でございます。

一五五四一五五年の国際奨学金の受領者の一人である、藤原清江氏は、私立女子學院を経て、津



開始は米赤十字、その後は漢洲戦犯第二分隊に働かれました。昭和二十五年より二十七年迄は、文部省とGHQの教育部に關係され、JFEI(教育指導者講習會)の米人講師の通譯兼秘書として働かれました。其後は日本の商業教育に興味を持たれ、機を見て、渡米、彼地でその方面では最も進歩していると云われている商業並びに職業教育を学びたく思つてい

研究上には彼女は生物科学に対する深い興味と広い知識を持たれ、有機体の生理現象を熱心に追究し、既に論文の一部を学界に発表されました。

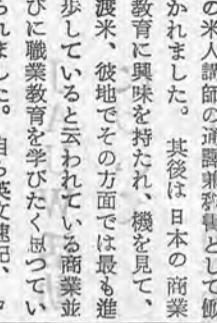


熊本の神話の内のノアの洪水を思わせた、当地昨年六、二六の未曾有の大洪水も、全半歳を離れた年末には、その七、八割の復興に漕ぎつきました。とは云え排土のトラックは未だに後を絶たず、今日も收容所生活に不自由な朝夕を迎えている處も、少くない有様でございます。

熊本の神話の内のノアの洪水を思わせた、当地昨年六、二六の未曾有の大洪水も、全半歳を離れた年末には、その七、八割の復興に漕ぎつきました。とは云え排土のトラックは未だに後を絶たず、今日も收容所生活に不自由な朝夕を迎えている處も、少くない有様でございます。

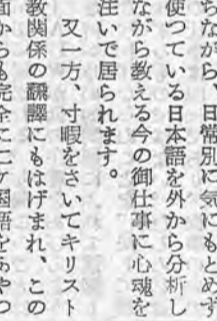
熊本の神話の内のノアの洪水を思わせた、当地昨年六、二六の未曾有の大洪水も、全半歳を離れた年末には、その七、八割の復興に漕ぎつきました。とは云え排土のトラックは未だに後を絶たず、今日も收容所生活に不自由な朝夕を迎えている處も、少くない有様でございます。

一五五四一五五年の国際奨学金の受領者の一人である、藤原清江氏は、私立女子學院を経て、津



開始は米赤十字、その後は漢洲戦犯第二分隊に働かれました。昭和二十五年より二十七年迄は、文部省とGHQの教育部に關係され、JFEI(教育指導者講習會)の米人講師の通譯兼秘書として働かれました。其後は日本の商業教育に興味を持たれ、機を見て、渡米、彼地でその方面では最も進歩していると云われている商業並びに職業教育を学びたく思つてい

研究上には彼女は生物科学に対する深い興味と広い知識を持たれ、有機体の生理現象を熱心に追究し、既に論文の一部を学界に発表されました。



熊本の神話の内のノアの洪水を思わせた、当地昨年六、二六の未曾有の大洪水も、全半歳を離れた年末には、その七、八割の復興に漕ぎつきました。とは云え排土のトラックは未だに後を絶たず、今日も收容所生活に不自由な朝夕を迎えている處も、少くない有様でございます。

熊本の神話の内のノアの洪水を思わせた、当地昨年六、二六の未曾有の大洪水も、全半歳を離れた年末には、その七、八割の復興に漕ぎつきました。とは云え排土のトラックは未だに後を絶たず、今日も收容所生活に不自由な朝夕を迎えている處も、少くない有様でございます。

熊本の神話の内のノアの洪水を思わせた、当地昨年六、二六の未曾有の大洪水も、全半歳を離れた年末には、その七、八割の復興に漕ぎつきました。とは云え排土のトラックは未だに後を絶たず、今日も收容所生活に不自由な朝夕を迎えている處も、少くない有様でございます。

(鈴木布美)